

不法投棄現場で確認されたコンクリート塊について

1 経緯

平成20年7月10日・11日 B15-N9-442.5（旧選別ヤード北）発見個数38個

平成20年12月22日 B16-N7-440（旧選別ヤード中央）発見個数10個

平成21年2月2日 コンクリート塊削孔調査※（7月発見物のうち1個）

平成21年2月18日 コンクリート塊削孔調査※（12月発見物のうち1個）

※調査内容

- ①飛散・流出・引火のおそれがないよう仮設作業建屋を設置。
- ②自動送り装置付きコアドリルによりコンクリート塊を削孔。
- ③内容物を採取し、塩化ビニルの蓋で密封。

2 調査結果

(1)7月発見コンクリート塊

構造 ドラム缶をコンクリート被覆

内容物 パラジクロロベンゼン（無色固体、結晶）

平成19年度に確認されたコンクリート塊内容物と同じ。

(2)12月発見コンクリート塊

構造 (1)と同じ

内容物 無色固体の結晶で、(1)と同様の臭気あり。現在分析中。

3 保管状況

防水シートで養生保管

4 今後の対応

- ・3月以降、内容物確認作業を再開する。
- ・内容物を確認したものは、その性状に応じて、適切に処理する。



12月発見状況



削孔作業状況



7月発見コンクリート塊内容物



12月発見コンクリート塊内容物